

投稿のきまり

2008 年 10 月 24 日改定

(社)日本トライボロジー学会校閲委員会

1．記事の種目

日本トライボロジー学会会誌「トライボロジスト」に学术论文として投稿される記事は次の 2 種類とします．いずれの記事も本文を記述する言語は日本語とします．

1.1 論文 (Original Contribution)

著者の原著で、トライボロジーに関する学術の進歩に寄与する研究成果、または工業に直結したトライボロジー技術に関する報告を主体としたものです．(1) 独創性、(2) 新規性、(3) 信頼性、(4) 学術的または工業的有用性、(5) 発展性、(6) 完結性の 6 つの観点を本誌への掲載価値の評価基準とします．

1.2 速報論文 (Short Paper)

著者の原著で、トライボロジーに関する速報性を有する研究報告、または、断片的に見出された新しい概念や事実の報告、著者の意見などです．「1.1 論文」の評価項目のうち (1) ～ (4) の観点を本誌への掲載価値の評価基準とします．なお、掲載可否の判定が下るまでの校閲手順が「論文」よりも簡略になっています．

2．論文・速報論文についての一般的注意

2.1 オリジナリティ

論文・速報論文は、著者の原著であり、原則として他の刊行物に未投稿のものに限ります．他の刊行物に公表された成果が含まれる場合は、参考文献等に挙げなければなりません．

他の刊行物とは、本会以外の学協会等により一般に公表されている、正規の査読・校閲を経た記事を掲載する論文集またはこれに準じるものです．他の刊行物には国内会議の予稿集や国際会議のプロシーディングス等は含まれません．

速報論文が原著であっても、「1.1 論文」の 6 つの評価基準を満たすように再構成したものは、新規の原著論文として投稿できます．

2.2 著者責任

論文・速報論文の内容については、著者が全責任を負うものとします．

3．投稿資格

著者は個人（連名も可）であって、少なくとも 1 名が本会正会員、学生会員または名誉会員であることを要します．

4．原稿の長さ

ページ数の制限は設けません．「トライボロジスト」に印刷された場合に、論文は 8 ページ以内、速報論文は 4 ページ以内を標準とします．

5．原稿の提出

写真製版可能な印刷版下は、著者あるいは本会のいずれが作成するかを選ぶことができます（7．最終原稿の提出を参照のこと）．いずれの場合も、原稿は必ず本校閲委員会の定める「論文・速報論文原稿の書き方」および「トライボロジスト投稿論文用テンプレートの使い方」、「論文原稿の見本」に従

って執筆し、その原本の鮮明なコピー5部（A4判サイズ）を原稿表紙5部（うち4部はコピーでも構いません）とともに本会へ送付して下さい。原稿表紙には、表題、著者名、著者の連絡先等に加えて、その学術論文で「アピールしたい点」を、箇条書きで簡潔に記載して下さい。なお、オリジナルな図表を含む原本は、校閲の過程で必要に応じて修正を行ない、「掲載決定」の通知後に最終正原稿としてご提出いただくことになります。

提出先：

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号
機械振興会館内407の2
(社)日本トライボロジー学会

6. 原稿の校閲および照会

6.1 原稿の校閲

受付原稿は、本校閲委員会が依頼する当該専門分野の校閲者の判定に基づく審議を経て、同委員会により掲載の可否が決定されます。原稿に対して校閲委員会より加筆・削除・修正などをお願いする場合があります。受付原稿に対するお問合せは、すべて校閲委員会（学会事務局宛）にお申し出下さい。また、ご意見は文書で同委員会宛にお送り下さい。

6.2 掲載可否の判定

掲載可否の判定は、2名ないし3名の校閲者の校閲結果に基づいて校閲委員会で行ないます。その際、校閲者からの修正意見があれば、著者に対して修正依頼を行ないます。修正意見に対して著者が十分な回答を行なったかどうかは校閲委員会が判断します。ただし、修正を求められても原稿の内容に対する責任は著者にあり、本会の責任は原稿の採否にあることにご留意下さい。

6.3 校閲委員会からの照会

校閲委員会からの照会に対して照会后2カ月以内（再照会以後は1カ月以内）にご回答がないと、その原稿の最初の受付日の権利は取り消され、新たに投稿された原稿として受け付けることになります。それに応じて、採用後の掲載時期が遅れますのでご注意下さい。

6.4 評価基準

校閲にあたり、以下の項目に照らして客観的に評価します。

論文の評価項目

- (1) 独創性：研究の着想、手法、解析、考察などの独創性について評価します。
- (2) 新規性：新しい研究手法、知見などを含むかを評価します。
- (3) 信頼性：理論や実験に誤りがなく、結果や考察の論理が正確で、得られた結論が妥当であるかを評価します。従来の理論や実験との関係が明確に記されていることが必要です。
- (4) 学術的または工業的有用性：記述されている理論、実験データ、考察、結論などの学術的または工業的有用性を評価します。
- (5) 発展性：本研究を基に将来の技術、研究の発展が望めるかを評価します。
- (6) 完結性：研究の目的を達成し、明解な論旨で普遍性のある結論が得られていることなどを評価します。

速報論文の評価項目

論文の評価項目のうち、(1) ~ (4) の観点について評価します。

各校閲者は以上の各項の評価と、現在までの「トライボロジスト」に掲載された論文、寄書、速報論文、および解説を参考にして、水準以上であれば、掲載「可」とし、掲載するほどの内容を含まないと考える場合、および掲載すべきでない場合を「否」とします。ただし、各評価項目の中に多少の疑義・疑問などのある項目がある場合でも、自動的に「否」とは判定せず、学術や技術の発展に寄与する内容があるものは掲載されるように配慮します。

6.5 続報論文

続報論文については次のように扱います。

6.5.1 前報との関係の明記

投稿された論文・速報論文の主要な内容が、同時またはこれに先立って投稿された論文（前報）・速報論文（前報）の掲載を前提としている場合、著者はその旨を原稿表紙に明記する必要があります。

6.5.2 採否について

前報の掲載を前提として作成された続報は、前報が掲載否（または期限切れ、取下げ等）となった場合、自動的に返却扱いとします。したがって、先に続報の校閲結果が出ていても、前報の校閲結果が出るまで続報は保留の扱いとなります。

6.5.3 独立した論文としての採否

互いに従属関係にない論文については、通常の手続きに従って校閲を開始し、各々独立した論文としてその可否を判定します。この場合、先に (n+1) 報の掲載が決定された場合および (n) 報が掲載否で (n+1) 報が「掲載決定」となった場合、校閲委員会は採否決定の通知時に「(n+1) 報の掲載保留」、「(n+1) 報の表題変更」などの処置について著者に確認します。

6.5.4 同一号への掲載限度

同一著者の論文・速報論文の同一号への掲載は、2 編までとします。

7．最終正原稿の提出

7.1 著者による版下作成

著者が印刷版下を作成する場合には、「掲載決定」の通知後に、鮮明に印刷された最終的な正原稿とそのコピーを各 1 部提出していただきます。

7.2 学会による版下作成

本会が印刷版下を作成する場合には、著者が割付を行なった正原稿 1 部と、55% に縮小した時に仕上がりの大きさ（片段 70mm，両段 150mm をこえない大きさ）になるように作図した図表を 3 部ずつご提出下さい。図中の文字の大きさは 14 ポイントとして下さい。写真は製版可能な鮮明なものを 1 葉提出して下さい。写真は返却できませんのであらかじめご了承ください。

図は、そのまま写真製版が可能なものをご提出いただくことを原則とします。図がそのまま写真製版可能かどうかは本会で判断します。その結果トレースあるいは写植文字の貼込みなどが必要となった場合には、その料金（実費）を投稿料（別刷・掲載料）に併せて請求いたします。

また、本文と図表は電子データ（CD-ROM に保存した Word ファイル、Excel ファイル、JPEG ファイル等）もご提出下さい。

8．著者校正

著者校正を 1 回行ないます。校正刷到着後 2 日以内にご返送下さい。なお、この際に原文を変更することは原則として認めません。

9. 掲載順序

論文・速報論文の掲載順は、原則として原稿受理日の順（受付番号順）とします。速報論文は「掲載決定」になり次第、論文に優先して掲載手続きに入りますが、この場合も速報論文の中で受付番号順とします。

10. 投稿料（別刷・掲載料）

10.1 投稿料

論文・速報論文の掲載分は、別に定める投稿料（別刷・掲載料）を納入していただきます。

10.2 別刷

論文・速報論文の掲載分は、別刷 50 部を著者（連名の場合は代表者）へ進呈します。なお、進呈部数以上の別刷を必要とされる方には、有料にて作成します。著者校正時にお申し出下さい。

10.3 カラー写真

カラー写真は実費にて掲載可能です。掲載希望の方は投稿に先立ち学会事務局にお問い合わせ下さい。

11. 発行後の訂正

印刷上の誤りの訂正は、印刷後、原稿の返送時に添付する所定の用紙を用いて原則として 1 カ月以内に著者がお申し出になれば、適宜会誌に掲載いたします。

12. 英文オンラインジャーナル Tribology Online への掲載

「トライボロジスト」に掲載された「論文」ないし「速報論文」は、著者において英訳し本会の英文オンラインジャーナル「Tribology Online」に掲載することができます。この場合、オリジナリティは「トライボロジスト」の掲載論文にあります。

13. 著作権

別に定める「著作権についての本会の方針」に従うものとします。

投稿料（別刷・掲載料）は以下のとおりです（2004 年 4 月 13 日改定）。

(1) 著者が印刷版下を作成する場合

速報論文	刷上り	4 ページ以内	20,000 円
		超過ページ	20,000 円/ページ
論文	刷上り	6 ページ以内	30,000 円
		7 ページ	35,000 円
		8 ページ	40,000 円
		超過ページ	20,000 円/ページ

(2) 本会が印刷版下を作成する場合

速報論文	刷上り	4 ページ以内	40,000 円
		超過ページ	30,000 円/ページ
論文	刷上り	6 ページ以内	60,000 円
		7 ページ	70,000 円
		8 ページ	80,000 円
		超過ページ	30,000 円/ページ

トレースと写植文字の貼込み：1 図につき 3,000 円見当です。
